

ベタニヤホームだより



社会福祉法人 ベタニヤホーム
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
 電話 03 (3631) 0444
 FAX 03 (5600) 4328
 発行責任者 松 園 繁 雄

2020年春号 第133号

私の聖書との出会い

日本福音ルーテル聖パウロ教会
 牧師 小勝 奈保子
 (社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)

「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」(マタイ4:4)。

もうはるか昔のことに
 なりますが、ルーテル幼稚園の卒園式で子ども用の新約聖書をもらいました。

それで教会学校へ行った時にはその聖書を開いていました。小学5年生の時に家を引越したのですが、その記念に父から大人と同じ聖書(旧約を含む口語訳聖書)を贈られました。一人前に扱われたようで嬉しかったのを覚えています。手渡される時に、聖書は子どもにも分かる本で子どもなら子どももりの読み方があり、20歳なら20歳の読み方、40歳、80歳、それぞれ年齢や時々によってふさわしい読み方があると教えられました。年齢がいくつになっても面白い本で、それでいてすべてを理解しすべて分かるかと言えようかな本でもない、つまり興味が尽きない味わい深い書物で、永遠のベストセラーと言いたかったのだと思います。それで子ども頃か何か困ったり、道に迷うたびに聖書を開くようになりまして。聖書は人生の道しるべ、航海で言えば羅針盤のような書物です。

チャプレンとして子どもたちに3つのことを伝えたいと思っています。喜び生きること、主と共にいること、そして一つ一つ、最近思うことに「道を誤った時に」間違っているよ、「こっちへいらっしやい」です。イエスは罪のない正しいお方です。罪をお赦しになります。罪を見逃して「何でもいいよ」と、そのように安易に許す方はありません。罪や過ちに安易に許す方は、律法の言葉「間違っているよ」と教えます。けれども、「こっちへいらっしやい」は福音の言葉で、「福音」こっちへいらっしやい」によって私たちの道を正し、これからはもう罪を犯さなくてもよいように、心根を変えてくださるのです。けれども今の時



代、子どもたちを取り巻く環境は、それとは反対の言葉にあふれています。間違っているから「ダメ」と烙印を押すのに早い、間違っているから「あなたはあっちへ」では疎外や排除です。あるいは、「反省できた」「正しくなったなら」は条件つき許し、それでは救われない悲しいなと思ってしまう。イエスは私たちの救い主として、ありません。たとえ間違っていたとしても、丸ごと存在を受け止めて、それでいて、もう罪を犯さなくてもよいように、罪の罰をイエスが肩代わりして(十字架の愛)、赦しの愛で私たちを包んでくださいます。人間はその愛を知ること、心根を変えられていくのです。

「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マルコ2:17)。

幼いうちから、この救いの神と出会ってほしいと願っています。人生は何度でもやり直しができて、躓いても転んでも、そこから再び立ち上がればよいのです。歩き出せばよいのです。そして、与えられた命を放り投げずに、最後まで生きて、喜び生きて、あきらめずに生き抜いてほしい、永遠の命を勝ち取ってほしい、そのような祈りを持っています。

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるのか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか」(マタイ16:26)。

地震や洪水など自然災害の困難は人が集まるのが力となりました。しかし、今、新型コロナウイルスによって人が集まるのが制限されています。このような試練は初めてです。これにどう立ち向かえばよいのでしょうか。イエスは「人に惑わされないように気をつけなさい」と言われました。地震や飢饉や剣、そういうことは起こるけれども、それで世の終わりが来るわけではない、と(マタイ24章)。

苦難ではなく試練として。人間は困難を苦難として受け止めます。苦難の場合は、苦しみや悲しみばかりに注目してしまいがち

が、試練とすれば、天へと神へと目を上げていく。神さまからの試練であれば、パウロの言葉にあるように「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」(ローマ5:3-4)。救い主と共に、この困難を乗り越えよう、希望を待ち望むようになり、イエスは死んで三日目によみがえり、復活しました。それがイエスタウの出来事です。

困難に際し、私たちは喜び生きることが出来る。命が与えられている恵み、食べるもの、休む寝床があり、愛し合う人たちが与えられています。空の鳥を見なさい、野の花を見なさい、父なる神さまは豊かに養ってくださる。そして、主と共にいることを知る。イエスは悲しんでいる人を慰め、病の人を癒し、孤独な人の友となられました。これは隣人に仕える愛として、ディアコニアの奉仕となり、福祉や保育へと発展しました。そして、「間違っているよ、こっちへいらっしやい」は、罪の赦し、十字架の愛です。主は欠け多き罪人である私たちを、両手を広げて迎え入れてくださいます。誰よりも、私たちの命が、魂が、滅んでしまわないようにと願って祈っているのは、十字架にお架かりになったイエスさまです。

この病は責任追及だけでは解決しません。互いにつながり合っている命であることを自覚し、咎め立て責め合うばかりではなく、互いに救い助け合う、支え合う、互いを思いやり、愛によらなければ癒されぬ病です。私たちは隣人の命に互いに責任を負っています。人の命を守るのは、保育者ばかりではありません。保育者は保育者の責任を果たしますが、親は親の責任を果たさねばなりませんし、子どもであっても子どもとしての責任を果たしていく。互いを思いやり、共に生きる時に、そして、天に対してへりくだる時に、この病は克服されると信じます。

この病の早期終息と、神さまからのご加護をお祈りいたします。

「主がすべての災いを遠ざけて、あなたを見守り、あなたの魂を見守ってください。あなたが見守ってくださいように。今も、そしてとこしえに」(詩編121:7-8)。

リメンバー・無差別空爆

日本福音ルーテル教会 牧師 北尾 一郎
(社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)

「菊川橋」の近くに工場があったという。1945年3月10日「東京大空襲」の猛火、爆風で、工場のトタン屋根が真っ赤に燃えて空中を舞った。コンクリートの防火用水桶はすぐ干上がった。無数の市民が、大横川に飛び込んで息絶えた…。この話は、20数年前、ベタニヤホームで行われた東京大空襲犠牲者追悼礼拝に続く講演の中で、地元の生存者の女性が語られたことのごく一部である。

その日、ベタニヤホーム(当時は洋風の名称を変えさせられて「菊川橋母子寮」と呼ばれていた)の利用者職員で子どもを含む26人余りが、近くの「菊川国民学校」(現・菊川小学校)に避難した動きの中で空爆の犠牲となった。どんなに怖かったであろうか。

一夜にして10万人余の人命を無惨にも奪った「東京大空襲」は、全国の多くの無差別空爆を代表している。75年を経た今日、菊川橋から「スカイツリー」を望みつつ眺められる桜の花は、まるで何も知らないように見える。であるからこそ、「私たち」は決して忘れてはならないのだ。もちろん、帰らぬ人となった多くの人々の存在の記憶を失ってはならない。そして、このような惨事を招いた指導者たちの責任を、戦争を肯定した日本という国家と日本人という国民の罪責を忘れてはならない。さらには、「リメンバー・パールハーバー」を合言葉に、大戦中途から国際法を無視し、一般市民を犠牲にする「無差別空爆」を各地で展開し、ついには原爆投下の恐るべき作戦を二度も実行した米国の人類に対する過ちを決して忘れてはならないのである。

日本国憲法の第9条は、このような状況の中で生まれ、「戦争放棄」のこの意思は、新憲法制定の過程で、日

本のある指導者の進言で盛り込まれたとも聞く。しかし、ある意味で、新日本に戦争を放棄させたのは、戦火の犠牲となった「声なき声」の絶えることのない叫びなのではないか。そして、焼け跡の地獄に遺された悲しい、余りにも悲しい子どもや大人の声である。「追悼する」ということは、忘れてはならないことを忘れない、ということにほかならない。

もう一つ、決して忘れてはならないことがある。「アジア太平洋戦争」とそれに至るいわゆる15年戦争において、日本が侵略者として2千万人といわれるアジアの市民を殺害した事実である。加害者であったことを忘れてしまいたい、知りたくもないという一部日本人の態度は、アジア諸国で受け入れられることはあり得ない。犠牲者の血が叫ぶからである。さらには、戦中戦後、世界の各地で憎しみの対象となった数百万の海外在留日本人の血と涙を忘れてよいものであろうか。

「未来志向」は正しいことである。しかし、それは「忘れること」によってではなく、決して「忘れないこと」から常に出発しなければならぬのである。

「平和の君」(プリンス・オブ・ピース)である救い主、イエス・キリストが地上を歩かれた時代も、侵略と抵抗、独立運動と抹殺政策が繰り返されていた。そのような世界の中で、イエスさまは民衆に教えられた――

あなたの敵を愛しなさい。

クリスマスに神の御独り子が「人」となった。「この人」は紀元30年の3月ごろ、エルサレム郊外の「ゴルゴタ」と呼ばれる丘の上で十字架にかけられて死んだ。そして、3日目に復活した。「この人」が「ベタニヤホーム」の原点である。復活後、多くの「小さなキリスト」が「愛敵の教え」を実行した。米国のルーテル教会女性会連盟の後押しの下に戦前戦後ベタニヤホームのため

に働き、その生涯を捧げたアンネ・パウラスもその一人である。

菊川保育園の庭に一本のいちじくの木がある。東京大空襲の後、緑の葉をつけて母子寮関係者に「復活」の希望を与えたのであった。それは「復活のキリスト」を象徴する。あなたも私も、このいちじくにあやかっただけに励まし合おうではないか。そうすることが、犠牲者の方々の鎮魂につながるのではないか。



今年の春のいちじく



数年前の実を付けたいちじく

各施設からエピソード

よく晴れたある日、園庭にて。遊んでいたフラフープを手に持ってバンザイする3歳児クラスの子。

子ども「先生、見て見て！神様がいますよ！」
保育士「神様？どこにいるの？」
子ども「ここだよ、ここ！」

子どもの視線の先の地面には、子どもの頭の上にフラフープの輪がきれいに乗っている影が映っていました。



富士見保育園

●令和2年度の基本方針

令和2年度は、平成31年度の取り組みを礎に、次の4つの基本方針のもとで具体的な計画をすすめてまいりたいと考えます。

第一に、従前同様、キリスト教社会福祉の実践を基本精神におき、これをすべての施設に浸透させていくよう努めます。そのために、各施設における内部研修を充実するとともに、日々の業務における実践と法人の基本理念との有機的関係づくりを実現してまいります。

第二に、社会福祉法に基づき、信頼ある法人として役割を果たしていくために、理事会を中心に経営組織の位置づけと権限を整理し、組織体制の再構築を一層すすめることで意思決定のプロセスと責任を明確にします。その中において、理事会の補助機関として位置づけられる経営委員会及び利用者やニーズと日々向き合う現場の声や思いを集積する施設連絡協議会は、法人の要として一層の活性化を図ってまいります。

第三に、定款をはじめとする既存の例規類を法制度及び法人の組織体制に沿って点検、再整備をすすめる、わかりやすく体系化を図ります。

第四に、令和2年度より複数年にわたり継続して次の3つの取り組みを行ってまいります。

一つは、総合的な災害対策を講じること、今年度は特に水害対策について検討を行います。二点目は、法人創立100周年に向けて情報収集をすすめるプロジェクト化を検討いたします。そして、三点目に「中長期経営計画」の見直しを見据え、取り組みの状況把握と課題整理を始めまいります。

●令和2年度の重点事項と具体的な実践計画

1. 理念の継承
2. 人材育成と働き方改革への対応
3. 法人組織の再構築と例規類の整備
4. 経営委員会ほか各種検討プロジェクトの運営
5. 拠点事業の充実への準備
6. 「折りの場」の提供

令和2年度各拠点区分資金収支予算概要

(単位：円)

		拠点区分						
勘定科目		法人本部	母子生活支援施設 ベタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園	合計	
収 入	事業活動による収入	0	119,022,000	0	0	0	119,022,000	
	児童福祉事業収入	0	119,022,000	0	0	0	119,022,000	
	保育事業収入	0	0	223,709,000	213,761,900	206,759,000	644,229,900	
	委託費収入	0	0	125,454,000	125,452,000	108,218,000		
	利用者等利用料収入	0	0	200,000	57,900	0		
	その他の事業収入	0	0	98,055,000	88,252,000	98,502,000		
	借入金利息補助金収入	0	0	618,138	0	208,810	826,948	
	経常経費寄附金収入	240,000	220,000	100,000	358,000	75,000	993,000	
	受取利息配当金収入	13,000	30,000	46,970	23,000	18,000	130,970	
	その他の収入	700,000	350,000	6,122,000	3,459,000	3,093,000	13,724,000	
	経常収入計(1)	953,000	119,622,000	230,596,108	217,601,900	210,153,810	778,926,818	
	施設整備等による収入	0	24,707,000	0	0	0	24,707,000	
	施設整備等補助金収入	0	24,707,000	0	0	0	24,707,000	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0		
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0		
施設整備等収入計(2)	0	24,707,000	0	0	0	24,707,000		
その他の活動による収入	683,000	10,000,000	27,000,000	0	0	37,683,000		
積立資産取崩収入	683,000	10,000,000	27,000,000	0	0	37,683,000		
事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金収入	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000		
その他の活動による収入	0	0	78,828	0	0	78,828		
財務活動による収入計(3)	20,683,000	10,000,000	27,078,828	0	0	57,761,828		
収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)	21,636,000	154,329,000	257,674,936	217,601,900	210,153,810	861,395,646		
支 出	事業活動による支出	14,968,000	83,260,000	196,704,000	171,157,000	163,419,500	629,508,500	
	人件費支出	14,968,000	83,260,000	196,704,000	171,157,000	163,419,500	629,508,500	
	事業費支出	0	6,480,000	23,963,828	16,534,000	23,578,000	70,555,828	
	事務費支出	5,635,000	27,783,000	16,881,000	18,080,800	9,551,000	77,930,800	
	支払利息支出	0	0	887,680	0	349,790	1,237,470	
	その他の支出	0	0	3,500,000	3,081,000	2,936,000	9,517,000	
	経常支出計(5)	20,603,000	117,568,000	241,936,508	208,852,800	199,834,290	788,794,598	
	施設整備等による支出	0	0	5,520,000	0	2,630,000	8,150,000	
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	5,520,000	0	2,630,000	8,150,000	
	固定資産取得支出	0	13,682,250	2,154,000	500,000	700,000	17,036,250	
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等による支出計(6)	0	13,682,250	7,674,000	500,000	3,330,000	25,186,250	
	その他の活動による支出	683,000	10,800,000	1,950,000	1,847,000	1,889,000	17,169,000	
	積立資産支出	683,000	10,800,000	1,950,000	1,847,000	1,889,000	17,169,000	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金支出	0	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	20,000,000		
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0		
財務支出計(7)	683,000	15,800,000	6,950,000	6,847,000	6,889,000	37,169,000		
予備費(8)	350,000	4,010,000	1,114,428	1,402,100	630,520	7,507,048		
支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)	21,636,000	151,060,250	257,674,936	217,601,900	210,153,810	858,126,896		
当期資金収支差額(10)=(4)-(9)	0	3,268,750	0	0	0	3,268,750		

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●新年会●

1月11日(土)、集会所で新年会を行いました。お母さんと職員で、「フィリピンの春巻き」と「韓国のキンパ」を調理し、盛り付けを行いました。フィリピン人のお母さんからフィリピンの家庭料理の味つけを教えてもらったり、慣れた手つきでキンパを巻くお母さんに対し、尊敬の眼差しで見ている小学生。参加者全員、完成したお料理を見て喜んでいました。

小学生が進行する中、参加者全員でおせち、おしるこを含めた料理を食べながら福笑いをして楽しみました。施設長より、会の準備をして下さった方々が紹介されると、恥ずかしそうに照れていたお母さんや誇らしげな表情をしていた小学生など、様々な姿が見られた新年会でした。

●母の会●

2月15日(土)に母の会を実施しました。いつもはお母さんだけで行われる会も今回は、学童や幼児も加わり、今年度の母の会のテーマである「防災」について学びました。お母さん・幼児・職員チーム対小学生・職員チームに分かれ、防災カードゲーム「なまずの学校」を行いました。白熱したゲームとなり、結果的に小学生・職員チームが勝ちました。

その後は、嘱託医の望月先生による「こんな時は何科を受診したらいいの?」、「正しい耳掃除の仕方」の講義を受け、参加されたお母さん達は、熱心に話を聞き質問する姿も見られました。



「母の会」



「新年会」

菊川保育園

●お屋さんごっこ●

『子ども達の発想を活かし、異年齢交流が出来るもの』を考える中、今年はお店屋さんごっこに決まりました。

それぞれがやりたいお店を出し合うと、お巡りさんやお好み焼き屋さん等、面白いアイデアが次々に飛び出してきました。一度は決めたものの、途中で違う店に変える事も。ごっこ遊び後半には、自分で決めた事に、誇らし気に取り組む子ども達でした。

乳児クラスの小さなお客さんが来店することになり、「小さい子が危なくないように」と割り箸の先をテープでグルグルと巻く年中さん。注文の取り方を教える年長さん。遊びの中で、相手のことを考えながら行動する姿に、心の動きも感じ取れました。

当日は「いらっしやいませー!」と威勢の良い掛け声が響きます。終わった後も「またお店屋さんやりたいね!」と、これからの遊びの展開が楽しみです。



「じゃじゃって作ろうか」



「出来たてですよ!」

富士見保育園

●おおきくなつたね●

昨年度春に入園したつくし組(0歳児)の子どもたち。1年が経ち、大きくなったなあと実感する毎日です。1年前はまだハイハイもしていなかった子が、お散歩大好き、走ることも大好きになりました。身体も大きくなり、お話もたくさんしてくれるようになりました。1年前とは違う姿を見て、乳児期の成長の大きさを感じます。



「一人で食べられるようになったよ」



「一緒に食べようね」

富士見保育園は担当制を取り入れており、まずは担当の保育士との愛着関係を築くことを大切にしています。離乳食も膝の上で保育士と一対一で食べることから始まります。お座りができるようになり、歩行もできるようになると椅子に座って食べるようになります。スプーンの使い方が少しずつ上手になり、今では保育者の少しのお手伝いによって自分で食べることができるようになってきました。担当制保育の中で丁寧な積み重ねてきたことが、こうした成長に現れているのを見るとなんだか嬉しく感じます。給食室で作られた美味しいごはんを食べるこの時間は、子どもたちの大好きな時間です。

これからも丁寧な保育を心がけて子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

こひつじ保育園

●生活発表会●

みかん組(3歳児)は「ぼんたの自動販売機」という絵本を題材にした劇を発表しました。リズム表現遊びを保育に取り入れてきたこともあり、ピアノの音が聞こえるとそれぞれの役の動物になりきり、全身で表現を楽しむ子どもたち。「○○ちゃんのキツネ、可愛いね」「○○くん声が大きくて素敵だね」と友だちを意識したり認める姿がありました。また発表会后には、友だち同士で役を入れ替えて繰り返し劇遊びを行い、存分に楽しんで子どもたちです。

「友だちと一緒に」の楽しさや、やり切る達成感を味わえた素敵な発表会となりました。



「ぼんたのぼんたですぼんたのぼん」



「ぼくたちはともだちがほしいよー」

法人本部報告

◇クリスマス献金にご協力をいただきありがとうございました。

【献金のお贈り先】

- 特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン 144,000円
- 特定非営利活動法人国境なき医師団 120,130円
- 社会福祉法人賛育会豊野事業所 160,173円
- 「うちかゆう給食」 聖公会野宿者支援活動・渋谷 120,130円

【献金の協力内訳】

- 菊川保育園 156,009円、富士見保育園 139,080円、こひつじ保育園 163,318円、法人本部(クリスマス礼拝献金) 86,026円

◇理事会・評議員会開催報告

【理事会】

●令和2年1月21日に平成31年度第6回理事会を開催し、次の議案がいずれも決議されました。

- 議案第25号 平成31年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第26号 平成31年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第27号 平成31年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第28号 平成31年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第29号 理事長の選定について
- 議案第30号 平成31年度第3回評議員会の招集について

●平成31年度第7回理事会を開催せず、全7名の理事から書面による同意、また、全22名の監事から書面決議について異議のない旨確認を得て、次の各議案について決議を受けました。

- 議案第31号 平成31年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第32号 平成31年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第33号 平成31年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第34号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第35号 社会福祉法人ベタニヤホーム母子生活支援施設ベタニヤホーム管理規定の一部改正について
- 議案第36号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規則の一部改正について
- 議案第37号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
- 議案第38号 賃金規程等検討委員会からの提言報告の承認について
- 議案第39号 平成31年度職員の人事情形について
- 議案第40号 令和2年度事業計画及び資金収支予算の承認について
- 議案第41号 平成31年度第4回評議員会の招集について

【評議員会】

●令和2年1月29日に平成31年度第3回評議員会を開催し、次の議案が決議されました。

- 議案第5号 平成31年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第6号 平成31年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第7号 平成31年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第8号 平成31年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)

●平成31年度第4回評議員会を開催せず、全9名の評議員から書面による同意を得て次の各議案について決議を受けました。

- 議案第9号 平成31年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第10号 平成31年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第11号 平成31年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)
- 議案第12号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第13号 令和2年度事業計画及び資金収支予算の承認について

◇新たな人事評価制度について賃金規程等検討委員会からの提言が承認されました。

人事評価制度は、働く人々の業績等について優劣を付け、支払われる給与や賞与、または昇格、昇任等へ反映し評価することが一般的です。本法人においても模索を繰り返してまいりましたが、人材育成を目的とする望ましい人事評価制度としていくために、引き続き、令和2年度もこの人事評価制度という仕組みの見直し作業を行い、職員一人ひとりが、ベタニヤホームで働くことの喜びや働き甲斐を感じられ、それぞれの成長を支えることができる人事評価制度としていきたいと思えます。新たな人事評価制度は、次のような目的を持った仕組み・ツールとしていきます。

- 人材育成に必要なコミュニケーション機会とするため
 - 働きがいやモチベーションの向上のため
 - 自身の成長を客観的に理解するため
 - 自己実現につなげる道標とするため
- 紙面の関係上、詳しくは、賃金規程等検討委員会提言報告書をご覧ください。

◇日本福音ルーテル教会第57回東教区定期総会に出席

令和2年3月20日に、日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂で開催された第57回東教区定期総会に法人から松田理事長が出席し、法人の活動報告を行いました。

ご協力ありがとうございました

〈令和2年1月〜令和2年3月まで〉(敬称略)

●ご寄附

〈母子生活支援施設ベタニヤホーム〉ギャップジャパン株式会社(箸置き・手作り玩具)、株式会社 カープス・ジャパンフードドライブ(食料品)、浄土宗江東組青年会(生活用品)、墨田区保護司会 藤田(ストラップ)、墨田区BBS会 横田(お菓子・消毒液)、RBBG株式会社(基礎化粧品)、UBS証券株式会社(絆創膏・体重計)

〈菊川保育園〉在園児祖父母(スタイ・紙コップ・吊るし雛・フランク)、さくら会(千代紙)、富樫栄子(ゲーム・積み木・折り紙)

〈富士見保育園〉千葉昌範(マスク)、白鳥智子(絵本・図鑑)、宝田歯科(水)

〈こひつじ保育園〉保護者(紙)

〈法人本部〉岡本英雄、田園調布ルーテル幼稚園

●ボランティア

〈母子生活支援施設ベタニヤホーム〉墨田区BBS会(学習ボランティア)

〈菊川保育園〉正木ツヤ子、池上美美子、太田原豊美(絵手紙)、深谷直江、増地昭雄、増地良枝、蛸谷のり子、菅井磯子、富樫栄子、神部照次、神部好、木村絹子(アイロン掛け等)、竹野良子(陶芸手伝い)、太田和子(裁縫)、平岡敏子、高野のぶ子、松永恵美子、堀内幸子、上田晴世、菊池春子、水谷よね子、大谷由美(保育補助)、古住明日香(調理補助)、山原陽花(小学生ボランティア)

〈富士見保育園〉白鳥真尋(学生ボランティア)

編集後記

年度末は新型コロナウイルスが流行し、感染症予防等各園で様々な対策がなされたことと思います。その中でも神様の見守りの中、園生活を送ることができた事に感謝いたします。

2020年度も子どもたち・保護者が安心して過ごせるよう、私たち保育者が寄り添った保育をしていくとともに、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。